

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8288
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	スポーツ 係
事務事業名	体育指導委員活動推進費		事業コード	15210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	~63 年度
施策名	第1施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進	

2 実施根拠及び関連法令等

スポーツ振興法、相模原市スポーツ振興計画（平成6年3月策定）、市体育指導委員に関する規則（市規則）

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
スポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行っている体育指導委員の活動を推進する。		体育指導委員	
		対象数	191
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ実技講習会 2回 ・研修会 2回 ・スポーツ講習会 2回 ・機関紙発行 ・各種会議の開催 41回 (運営費補助金 225,000円) (委員報酬 11,429,105円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーション指導者の育成と活用 体育指導委員活動の充実 	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

4 評価指標

指標名	体育指導委員の活動延べ人数割合	研修会等の出席割合
指標式	体育指導委員の平均活動延べ人数	体育指導委員の出席数(6回) / 1146名(191名×6回) × 100
指標設定の意図	体育指導委員の活動を平均延べ人数として比較増減を見る。	体育指導委員の研修会等の実施にあたり、出席割合を見る。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	48.6	40.3	a 41.2	b 36.0	36.0	
指標	50.9	45.1	c 54.1	d 70.0	70.0	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	21,024	13,745	20,998	22,879	13,950
	人員・時間数	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人
	人件費	6,736	6,736	6,736	6,736	6,736
	その他経費					
	合計	27,760	20,481	27,734	29,615	20,686
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 95.9%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{41.2}{36.0} \times 100 = 114.4\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{54.1}{70.0} \times 100 = 77.3\%$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	体育指導委員の活動は公民館事業との関連から主に土・日曜日に行われている。市が主催するスポーツ実技講習会等の開催は公民館が休館する月曜日に実施していることから、仕事の都合上参加には限度がある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	スポーツに対する多様化するニーズに応えるため、研修等を行うことによりなお一層の資質の向上と高い指導力を習得している。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	体育指導委員の活動に必要な指導力等の習得を行い、その指導力等を市主催行事だけでなく地域事業などあらゆる機会を通じて発揮しているため効果は極めて高いといえる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	本市スポーツ振興において、体育指導委員と行政は密に連携しなければならないため代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	地域におけるスポーツ行事実施において、中心的な役割を担っているが、一人一人の能力を生かしきれていない面がある。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	体育指導委員の役割は、ますます重要度を増してきているため有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 市民の多様化するニーズに応えるため、研修等を行うことによりなお一層の資質の向上と高い指導力を習得が必要。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 体育指導委員連絡協議会の研修・実技講習会事業経費などのため削減は困難である。</p>	

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	スポーツ振興において、地域におけるスポーツ振興は体育指導委員が今後も担うと考え、その多様化するニーズに対応すべく、研修・実技講習会などを継続的に開催する必要がある。また、今後スポーツマネジメント能力も必要と考えており、引き続き推進していきたい。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--